

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：6/11～6/15

・6/11(月)

米朝首脳会談や両陛下が最後の福島訪問などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証したところ、特に問題は見られませんでした。なお、番組構成については検証者の所感を記しました。

・6/12(火)

米朝首脳会談、公職選挙法、IR 法案、政府がセクハラ緊急対策を決定などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証したところ、特に問題は見られませんでした。なお、番組構成については検証者の所感を記しました。

・6/13(水)

米朝会談、成人年齢 18 歳に引き下げ、東京五輪で祝日を移動、米軍 F15 が飛行再開などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証したところ、米朝会談については問題のある場面が見られました。また、米朝会談については検証者の所感を記しました。

・6/14(木)

のぞみ人身事故、米朝首脳会談、「セクハラ問題」野田大臣×雨宮キャスター、福島第二原発廃炉などについて報じられました。これら例示したトピックについてのぞみ人身事故以外については放送法第四条の見地から検証したところ、「セクハラ問題」野田大臣×雨宮キャスター、福島第二原発廃炉については他の放送日と総合しての判断が必要なものでした。また、のぞみ人身事故については検証者の所感を記しました。

・6/15(金)

米朝首脳会談、トランプ大統領の貿易政策、IR 法案、骨太の方針、民泊新法施行などについて報じられました。これら例示したトピックについて民泊新法施行以外については放送法第四条の見地から検証したところ、特に問題は見られませんでした。また、IR 法案と民泊新法施行については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年6月11日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙 ※星キャスター、皆川キャスターはシンガポールからの中継</p>		
<p>検証テーマ：米朝首脳会談、両陛下が最後の福島訪問</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝首脳会談 ・新幹線三人殺傷事件 ・日大教職員組合、理事長辞任求める署名 752 人 ・両陛下が最後の福島訪問 ・静岡山中の女性遺体、連れ去られた後に遺棄か ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 米朝首脳会談 新幹線三人殺傷事件 東京目黒区での虐待死事件 袴田事件で東京高裁は再審認めず 沖縄で米軍 F15 が那覇沖に ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝首脳会談：結論→特に問題なし <p>米朝首脳会談を控えて両首脳がシンガポール入りしたこと、実務者の協議はまだ続いていること、夜には金正恩党委員長がシンガポールの観光に繰り出したことなどが報じられた。</p> <p>また、番組のラストでは星キャスターが「あと十時間後に迫った首脳会談ですが、どうやら朝鮮半島の終結宣言これは韓国も含めた宣言はこれは中々まとまらなかったようです。非核化についてはですね、金委員長の方から段階的な非核化とアメリカに届く ICBM は放棄する、というような提案があると見られます、トランプ大統領はこれをどう評価するか、朝鮮半島の非核化がですね、大きな一歩をこれによって歩むのかどうか、注目してみたいと思います。」と明日の首脳会談の見所について語った。</p> <p>このトピックに当てられた時間は 909 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。</p> ・両陛下が最後の福島訪問：結論→特に問題なし <p>天皇皇后両陛下は東日本大震災で大きな被害を受けた福島県相馬市を訪れ慰霊碑に花を供えられたこと、皇后様は昨日夜から発熱していたが予定されていた行事に全て臨まれたこと、両陛下が天皇皇后として東北三県の被災地を訪問されるのはこれが最後になると見られていることが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 26 秒で放送法の観点からは特に問題は見られなかった。</p> 		

NEWS23 週刊報告 詳細版

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

米朝首脳会談を明日に控えているということもあって、番組中でも米朝首脳会談前夜の両首脳の動向やシンガポールの様子についてかなりの時間が配分されていた報道だった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年6月12日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：米朝首脳会談、公職選挙法、IR法案、政府がセクハラ緊急対策を決定		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝首脳会談 ・新幹線三人殺傷事件 ・静岡山中に看護師女性痛い、男二人逮捕、更に共犯者も ・公職選挙法 ・IR法案 ・スポーツ報道 ・23Today <p>米朝首脳会談 新幹線三人殺傷事件 上野動物園、シャンシャン今日で1歳 政府、セクハラ緊急対策決定 東京足立区生後二ヶ月の赤ちゃんを殺害した容疑で父親再逮捕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝首脳会談 <p>米朝首脳会談について伝えられた。</p> <p>星キャスターと皆川キャスターは現地からの中継で、オープニングでは星キャスターと皆川キャスターが以下に朱記したやり取りで米朝首脳会談をまとめていた。</p> <p>皆川玲奈「トランプ大統領は日本時間の午後七時前にシンガポールをあとにしました。一方金正恩党委員長は間もなくホテルを出発するものと見られています。それにしても今回の会談は直前に予定が決まるなど本当に目まぐるしい一日でしたね。」</p> <p>星浩「そうですね、朝鮮半島の平和に向けて、一歩踏み出したんですが、どちらの方向に行くのか、どれだけ時間がかかるのか、中々読めないという状況ですね。」</p> <p>皆川玲奈「そうですね、ギリギリまで実務者協議が続くなど激しいつばぜり合いを見せたアメリカと北朝鮮ですが非核化や体制保証、さらには拉致問題など、具体策は先送りされた格好です。」</p> <p>会談に至る経緯や会談の様子が伝えられた他に以下に朱記したトランプ大統領の記者会見の様子が取り上げられていた。</p> <p>記者「金正恩氏をホワイトハウスに招く？」</p> <p>トランプ大統領「もちろん、そうします。」</p> <p>ナレ「会談後開かれたトランプ大統領の会見、冒頭に流された映像では、発射されたミサイルを逆再生したよう</p>		

なもので、しかし、今回の共同声明では当初アメリカが求めていた、完全かつ検証可能で不可逆的な非核化、いわゆる CVID のうち、触れられたのは完全な非核家に留まっていて記者から質問が相次ぎました。」

記者「なぜ CVID を文書に残せなかった。」

トランプ大統領「時間が無かったからだ。一日だけ濃密な時間は過ごしたがプロセスはこれから始まる。」

記者「北朝鮮が口だけでないことをどうやって確かめる？」

トランプ大統領「確かなことなんてあるのか？ でもわかるんだ、ただ強く感じるんだ、私の直感と能力で彼らが取引したがつていることがわかるんだ。」

ナレ「トランプ氏は対話が続いている間はアメリカと韓国の軍事演習を中止する意向を表明、」

また、今回の米朝首脳会談については北朝鮮情勢に詳しいジャーナリストの平井久志氏の「非核化のことに對する具体的な中身がなかったためにですね、課題が先送りされ非核化の問題をどういうふうにして一つ一つ構築していくのか、ということがよりアメリカの責任が重くなった。」というコメントや、拉致問題が共同声明で触れられなかったことについて拉致被害者横田めぐみさんの母である横田早紀江さんの「悲観はしていません、これから見えてくるものがいっぱいあるし、だからあの、なんとかして早くみんなが元気な間に一刻も早くそういう再会の時を与えていただきたい、と。」というコメントが取り上げられていた。

また、一連の VTR を承けてスタジオと中継では今回の米朝首脳会談についての注目のポイントを巡り以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられた。

雨宮塔子「課題は先送りとなった形ですが、星さんはきょうの合意、どう見ますか。」

星浩「はい、まずは非核化ですけど具体的な時期とか段取りがはっきりしないままですね、体制の保証とか米韓合同軍事演習を止めてもいいよというカードを切ってますので、どうも全体としては北朝鮮ペースというふうに見られるんですね、トランプ大統領もそれを意識してか記者会見を一時間半もやってですね、非核化の話し合い、もうすぐに入るんだ、とかですね、制裁は続くんだ、と説明に追われていましたね。一方で拉致問題ですが、安倍総理の約束を受けてトランプ大統領はしっかりと北朝鮮側に提起をしたようであり、しかしこれも北朝鮮側の反応が今ひとつ見えてこないためにですね、先行きはまだまだ不透明な状況でございます。」

駒田健吾「星さん、トランプ大統領に比べますと金正恩委員長の発言は少なかつたわけであり、その中でも気になったコメント、何かありましたか？」

星浩「そうですね、私はこのシーンに注目しましたので御覧ください。」

金正恩党委員長「我々がここまで来る道のりはそんなに容易なものではなかつた、我々の足かせとなる過去があり、誤った慣行のせいで時に我々の目と耳を塞いでしまったが全てを克服してここにやってきました。」

星浩「北朝鮮の最高指導者がですね、これほど自らの問題点を明確に話をするという非常に珍しいことですね、これは金正恩氏はもしかすると中国を真似てこのまま核問題だけでなくて改革開放に進みたいのかなということも伺わせる発言でした。」

雨宮塔子「その北朝鮮の思惑通りに進むのでしょうか。」

星浩「まあそう簡単にはいかないと思います、トランプ大統領については私はこの発言を注目しています。」

トランプ大統領「我々は出来るだけ早く合意事項を実行するため精力的に交渉していくことで合意した。」彼はそう望んでいる、これは過去の話ではない。交渉すら始めず何も成し遂げられなかつたこれまでの政権とは違う。キム委員長は北朝鮮が大規模なミサイルエンジン実験場の破壊に着手していると話した。」

"星浩「北朝鮮はですね、アメリカに届くような長距離ミサイルは解体するんだ、とトランプ大統領はアピールしているわけですが、日本などを射程にしています中間距離のミサイルについては温存することなんですね、そうするとこれアメリカと日本派ですね、ミサイルについて溝ができるんじゃないかと、そういう問題が顕在化してくる可能性が高いですね。」

駒田健吾「そして、星さん、過去にできなかったことをやり遂げた、などとトランプ大統領は自身に満ち溢れたコメントを連発していましたが、アメリカのメディアはどう報じているのでしょうか？」

星浩「そうですね、こちらに来ているアメリカのメディアの人にも何度か聞いてみましたが、やはり s の核問題、特にアメリカ側は検証ということにこだわってしまっていて、検証が不十分なのにこんなに体制の保証などのカードを切って良いのか、というようなメディアのかなりの意見でした。加えてですね、議会の民主党の中には北朝鮮の人権問題を重視する動きがありましてそういう動きからするとトランプさんの今回の判断に対して強い反発もでていまして、今回トランプ氏が北朝鮮に打ち出した製作が進まないようですと、今度は北朝鮮のほうが苛ついて、また核開発の方に逆戻りと、今までこれまで何度も米朝間で見られたことになるんじゃないか、そういう懸念さえで始めているんですね。」

雨宮塔子「シンガポールからは以上です、明日は東京のスタジオからお伝えします。」

このトピックに当てられた時間は 1122 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・公職選挙法：結論→特に問題なし

自民党は参議院の一票の格差の是正に向けて議員定数を六増やす公職選挙法改正案を了承したこと、改正案では鳥取島根・徳島高知をそれぞれ一つの選挙区とする合区の対象県について候補者を救済することを念頭に拘束名簿方式を比例代表で一部導入し定数を四増やすとのこと、また小選挙区では一票の格差を是正するために議員定数を 2 増やすとのが伝えられた。

これについて自民党の竹下亘総務会長「全会一致で了承をいただきました。」というコメントと立憲民主党の福山哲郎幹事長の「自らの議席を維持することだけを目的とした党利党略。」というコメントが取り上げられ、今国会での成立を目指す自民党とそれに反発する野党という構図が伝えられた。このトピックに当てられた時間は 56 秒で、放送法第四条の観点からは問題は特に問題は見られなかった。

・IR 法案：結論→特に問題なし

政府与党が今の国会での成立を目指すカジノ整備法案を巡って立憲民主党などの野党は国会対策責任者が協議し衆議院内閣委員長への解任決議案を提出したこと、その理由として野党側は委員長が十分な質疑時間の確保などを怠ったことなどを理由に上げていること、与党側は明日の委員会採決を目指していたが解任決議案を衆議院本会議で処理する必要があるため採決は明後日以降に持ち越される見通しであることが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 43 秒で、放送法の観点からは特に問題は見られなかった。

・政府がセクハラ緊急対策決定：結論→問題なし

財務省の福田前事務次官による女性記者への女性記者へのセクハラ問題などをうけ、政府が緊急対策を決定したこと、対策は省庁の課長級以上の幹部職員らに研修を義務付けた他に外部からの通報窓口の整備や被害者のプ

NEWS23 週刊報告 詳細版

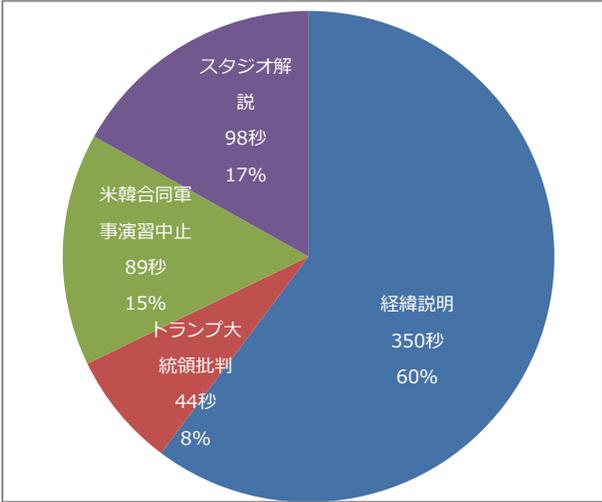
ライバシー保護の徹底などを盛り込んでいるとのが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 25 秒で放送法の観点からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

今回は米朝首脳会談以外のトピックについての扱いが小さかったが、今日まさに米朝首脳会談が行われたということを見ると、どうしても米朝首脳会談に厚みを持たせた報道になるのは仕方のないことであろう。今日の報道では IR 法案や公職選挙法など重要な問題についても動きがあったことが伝えられたが、これらのトピックの問題点や論点の掘り下げについては明日以降の報道に期待したい。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年6月13日																		
出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙																				
検証テーマ：米朝会談、成人年齢18歳に引き下げ、東京五輪で祝日を移動、米軍F15が飛行再開																				
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝会談 ・女性看護師遺体遺棄事件 ・東海道新幹線3人殺傷事件 ・ロシアのフリーガン対策 ・阪神タイガースのスコアラー逮捕 ・成人年齢18歳に引き下げ ・貴公俊を不起訴処分に ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> ・東京五輪で祝日を移動 ・秋田犬「マサル」の最新動画公開 ・米軍F15が飛行再開 ・天気予報 																				
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝会談→結論：放送法第四条に抵触 <p>今回は米朝会談の内容について北朝鮮メディアの伝え方や、会談内容についての米国内の批判の様子、日本の対応などが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は581秒だった。なお、今回は経緯説明、トランプ大統領への批判、米韓軍事合同演習中止の余波について焦点が当てられた報道で、それぞれの論点に当てられた時間配分及び比率は以下の通りであった。</p>																				
 <table border="1"> <caption>トピックごとの時間配分及び比率</caption> <thead> <tr> <th>トピック</th> <th>時間 (秒)</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経緯説明</td> <td>350</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>スタジオ解説</td> <td>98</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>米韓合同軍事演習中止</td> <td>89</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>トランプ大統領批判</td> <td>44</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>説</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>			トピック	時間 (秒)	比率 (%)	経緯説明	350	60%	スタジオ解説	98	17%	米韓合同軍事演習中止	89	15%	トランプ大統領批判	44	8%	説	0	0%
トピック	時間 (秒)	比率 (%)																		
経緯説明	350	60%																		
スタジオ解説	98	17%																		
米韓合同軍事演習中止	89	15%																		
トランプ大統領批判	44	8%																		
説	0	0%																		
<p>なお、経緯説明では今回の米朝首脳会談において合意した内容や北朝鮮メディアの会談の報じ方などが伝えら</p>																				

れた。トランプ大統領の批判については以下のやり取りがあった。

ニューヨーク・タイムズ「共同声明の中身は曖昧だ。会談で勝者となったのは金氏だ。」

ナレーター「アメリカは『完全かつ検証可能で不可逆的な非核化』を求めていたはずなのに、共同声明に盛り込まれていたのは『完全な非核化』のみ。具体的な方法や期限など詳細が示されていないと批判を浴びたのです。アメリカ議会では。」

チャック・シュートマー上院院内総務（民主党）「非常に心配だ。アメリカが得たものは曖昧で検証不能なものだ。一方、北朝鮮は永続的で形あるものを獲得した。」

また、米韓合同軍事演習の余波については以下のやり取りがあった。

ナレーター「トランプ大統領は北朝鮮が嫌がっていた米韓軍事演習の中止に踏み切ったのです。北朝鮮の国営テレビは正恩氏の要望に応えたものだったとしています。『衝撃的』『爆弾発言』米韓軍事演習の中止についてこう報じたのは韓国メディアです。保守系の朝鮮日報は『非核化の具体的な道筋がない中で北朝鮮が要求していた訓練の中止という補償だけを与えた。』」

ソウル市民①「完全に金党委員長にやられましたね。」

ソウル市民②「安全保障には大問題だと考えます。」

ナレーター「波紋は韓国政府内にも広がっているようです。国防省のコメントは、『正確な意味や意図を把握することが必要だ。』」

小野寺防衛相「米韓軍事演習、在韓米軍を含めて、東アジアの安全保障に重要な役割を持っているものだと思っております。この考え方については日米、あるいは日米韓で共有するようにしたいと思います。」

さらに、スタジオ解説においてはキャスターたちにより以下のやり取りがあった。

駒田「たしかに歴史的会談ではありましたけれども、一夜明けて合意に対する懸念も出てきましたよね。アメリカは『完全かつ検証可能で不可逆的な非核化』を求めてきましたが、明確ではありません。」

星「そうですね。トランプ大統領は非核化の交渉をすぐ始めるんだと説明していますが、アメリカではとりわけ検証方法について全く明らかになっていないということについてメディアとか議会とかが指摘しているんですね。これから議会の公聴会というのが開催されますけれども、そこで相当批判が高まると思います。」

雨宮「それから米韓軍事合同演習の中止を検討。この発言にも波紋が広がっています。」

星「そうですね。トランプ大統領は会見では軍事演習は金がかかるんだと中止の検討を明言したんですけれども、この米韓合同演習というのはもともとはアメリカが北朝鮮を抑止する柱になっているわけですよね。これを止めるということは北朝鮮を抑止しなくていいのかということになりますので、アメリカの軍部から反発が出ることは確かですよ。一方、北の方はこれで相当期待してますから。この中でやっぱりやりますとなると、これは相当米朝間で揉めるんじゃないかなと言う気がしますね。ところで今朝、シンガポールの新聞を買ってきたんですけども、こういう風に評価していますね。(First step on long road to peace の見出し) 第一歩を踏み出したんですけども、平和への道のりは長いよと。まさに核心をついていると思いますね。この第一歩の次をどう築き上げていくかリーダーたちの力量がこれから試されてくるということですね。」

このうち、トランプ大統領についての批判として取り上げられたのはニューヨークタイムズと民主党所属のシュートマー上院議員の意見であるが、トランプ大統領は共和党に属する人物であり、共和党の意見が紹介されていない報道のあり方を考えると放送法第四条第一項第二号（政治的に公平であること）に抵触していると考えら

れる。

- ・成人年齢 18 歳に引き下げ→結論：放送法第四条の観点から問題は見られなかった。

今回は成人年齢を 18 歳に引き下げる民法改正案が参議院本会議を通過したことが報じられた。このトピックに当てられた時間は 52 秒で、経緯説明が主な内容であった。

今トピックでは放送法第四条の観点から問題は見られなかった。

- ・東京五輪で祝日を移動→結論：放送法第四条の観点から問題は見られなかった。

今回は 2020 年の東京五輪に向け、交通渋滞緩和を目的として祝日を移動することが報じられた。このトピックに当てられた時間は 21 秒で、経緯説明が主な内容であった。

今トピックでは放送法第四条の観点から問題は見られなかった。

- ・米軍 F15 が飛行再開→結論：放送法第四条の観点から問題は見られなかった。

今回は米軍嘉手納基地所属の F15 戦闘機が飛行を再開したことが報じられた。このトピックに当てられた時間は 13 秒だった。経緯説明が主な内容であったが、飛行再開の報道の他に 2 日前の墜落事故の原因・対策が明らかにされていないことを理由に地元の反発が強まっていることも合わせて伝えられた。

今トピックでは放送法第四条の観点から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感

- ・米朝首脳会談

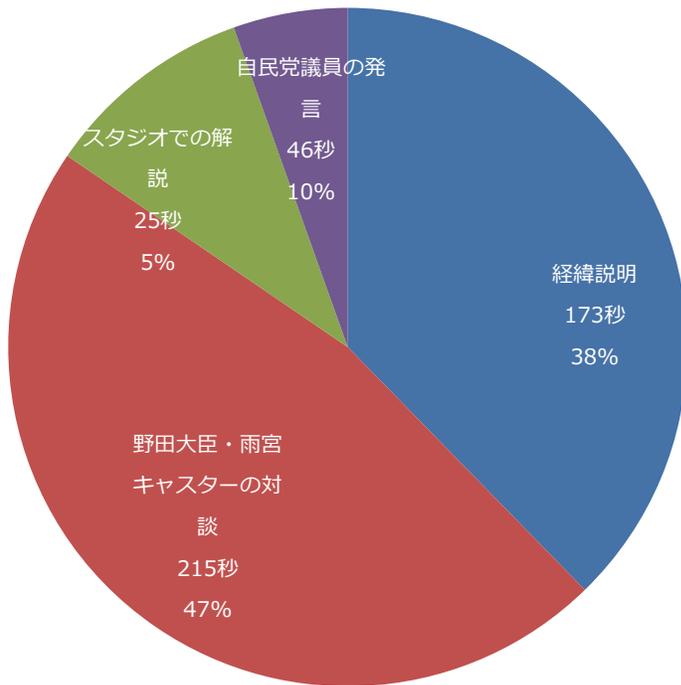
米朝首脳会談のトピックにおいて、スタジオ解説の最後に星キャスターがシンガポールの新聞について次のようにコメントしている。「ところで今朝、シンガポールの新聞を買ってきたんですけども、こういう風に評価していますね。(First step on long road to peace の見出し) 第一歩を踏み出したんですけども、平和への道のりは長いよと。まさに核心をついていると思いますね。この第一歩の次をどう築き上げていくかリーダーたちの力量がこれから試されてくるということですね。」

しかし、新聞の見出しは「平和への長い道のりの第一歩」とも訳すことができる。星キャスターの訳し方では第一歩を踏み出したことへの評価が非常に低いものとなりかねず、今回の米朝会談の価値が過小評価を受けかねないと感じられた。

星キャスターの発言どおり、米朝会談の最終的な価値は今後の動き次第ではあるが、現段階での評価としてはトランプ大統領への恣意性が多分に含まれていると感じられた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年6月14日
出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ：米朝首脳会談、「セクハラ問題」野田大臣×雨宮キャスター、福島第二原発廃炉		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のぞみ人身事故 ・米朝首脳会談 ・ディズニーランド拡張 ・「セクハラ問題」野田大臣×雨宮キャスター ・栄監督謝罪会見 ・福島第二原発廃炉 ・スポーツ情報 ・23Today AKB チケット転売 リンさん殺害事件 時効直前に“性的暴行”の容疑の男が逮捕 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝首脳会談→結論：放送法第四条の見地からは問題なし <p>中国の習近平国家主席。韓国の文在演大統領。さらにアメリカトランプ大統領と3月以降立て続けに首脳会談を重ねてきた金正恩委員長が安倍総理との会談にも前向きな態度を示していたという報道。北朝鮮がこのような態度を見せていることについてコメンテーターの星浩氏は「そうですね。日米と北朝鮮の間で一つ法則がありましてね。米朝が悪くなると日朝が動き出すという。典型的なのは2002年のことなんですけども、1月にブッシュ大統領当時のブッシュ大統領が北朝鮮が悪の枢軸と名指ししましてね。米朝関係が非常に悪くなって、そこを狙って日朝が動き出して9月には小泉総理の訪朝が実現して拉致問題に風穴が開いてくるということがあったわけですね。今回そのアメリカと北朝鮮の関係上にもいいんですけど非核化の協議ではどっかで行き詰る可能性もありますのでね、日本がそのタイミングをパット突いて日朝を動かすということが必要なんで、そのためにはやはり外交のパイプ作りを地道に重ねていくということがどうしても必要なんですよね。そういう意味では日本の外交の力が問われてくる場面が続くと思いますね。」と解説していた。このトピックスは437秒報じられ、賛否が分かれる点は見当たらなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「セクハラ問題」野田大臣×雨宮キャスター→結論：他の放送日との総合的な判断が必要 <p>財務省の福田次官による女性記者へのセクハラから端を発したセクハラ問題について、女性活躍担当大臣を兼任する野田聖子総務大臣と雨宮キャスターとの対談を中心にした報道。同報道では経緯説明、野田大臣・雨宮キャスターとの対談、自民党議員の発言、スタジオでの解説の4点に分けられた。以下がその時間及び比率である。</p>		



野田大臣・雨宮キャスターの対談では、まず自身のセクハラの実体験について野田大臣から「一番セクハラを受けたのは落選中です。毎日でした。落選中の候補者に対して権力者は有権者。体を触る。卑猥なことを言われる。男性には下着見せたら一票やるぞっていう有権者はいないけど女性の有権者に対してはそうやって言われるって言うのは、もう実体験。」と語っていた。また財務省や自民党内でのセクハラ問題について意識の低さを雨宮キャスターから指摘されると「どうしても自由民主党って男性政党ですから、実際セクシャルハラスメントについて深い知識があるかって言うと、被害者になり得ない男性はほとんど学ばないで来ていると思います。自民党っていうのはもう日本の象徴みたいな政党で、社会は男性中心だなっていうことが反映されて相当数が男性議員ということになっているわけだから。だから日本全体の問題だと私思っています。」と回答していた。後半部には女性総理についての話題となり以下のようなやり取りがあった。

野田大臣：現役の子育て世代。歳はとっていますけど小学生の息子を育てていく中でやっぱりこの国は子供に冷たい国だなっていうことを、やっぱり実感するわけですね。まあ安倍総理と同期ですから。同期なのに子供がちっちゃいというのはすごいメリットで。権力あるけど現場感覚を持っている。そういうのはどんどん生かして。

雨宮キャスター：具体的に勝算は？

野田大臣：いやいや、これはとにかく努力努力。

NEWS23 週刊報告 詳細版

また以上のような対談を受けてスタジオでコメンテーターの星浩氏は「私もずっと自民党の取材ってのをやってきましたけど自民党社会っていうのはやっぱり男社会でね。野田さんの言うようにね、そこの自民党の男社会にもしっかりとチャレンジしてもらいたいと思いますね。」とコメントしていた。

全体を通して対談相手である野田聖子議員に対して肯定的な報道であった。個々の問題については賛否が分かれる点はないものの、放送法第四第一項二号の「政治的に公平であること。」の観点から他の放送日との比較から総合的な判断が必要と考える。なおこのトピックスの放送時間は 459 秒だった。

- ・ 福島第二原発廃炉→結論：他の放送日との総合的な判断が必要

東京電力は福島第一原発に続いて第二原発についても廃炉の方向で検討する方針を示したことについての報道。スタジオ内では以下のようなやり取りがあった。

雨宮：廃炉の決定がなぜ今頃ようやくという感じがしますね。

星：遅すぎた判断だと思いますね。この7年間でもしかしたら再稼働するんじゃないかっていうことがあって、帰還したいんだけどできなかった人といっぱいいるわけですよ。それで帰れなかった人のことを考えると、ちょっとこの遅すぎた判断の罪は大きいと思いますね。

全体を通して否定的な論調が目立ったものの、住民のインタビューなど一定の多角性を有しており、他の放送日との比較の上で結論すべきと考える。このトピックスの報道時間は 114 秒だった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

- ・ のぞみ人身事故

トピックス冒頭においてナレーションで「また新幹線でした。」との発言があった。新幹線での異音問題や東海道新幹線での殺傷事件など、最近は新幹線での事件が目につく。しかし上記のような表現は視聴者に不要なネガティブイメージを抱かせかねない表現ではないだろうか。これをもって印象操作とは断定はできないものの、視聴者の理解を促すという観点からは些か不適切な表現であると考え。

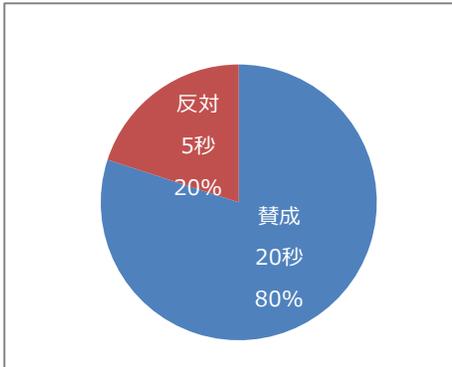
NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年6月15日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：米朝首脳会談、トランプ大統領の貿易政策、IR法案、骨太の方針		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー ロシア W 杯開幕 ・静岡で看護師の遺体遺棄事件 ・米朝首脳会談 ・トランプ大統領の貿易政策：米、中国製品に 25%の特別関税導入を発表 ・IR法案が衆院内閣委員会通過 ・山陽新幹線人身事故 ・民泊新法施行 ・消費税 10%引き上げ明記 “骨太の方針”を閣議決定 ・スポーツ報道 ・23Today ロシア W 杯開幕 国家の威信をかけたテロ対策 女性死体遺棄事件 ベトナム人少女殺害事件 9 回目の公判 佳子様 9 か月ぶりに帰国 ・気象情報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝首脳会談→結論：放送法第四条の見地からは問題なし <p>今回の報道は、米朝首脳会談を受けての米朝関係の変化についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 378 秒だった。なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。</p> <p>なお、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。</p> <p>駒田キャスター「ついさっき伝えられた拉致問題は解決済みという主張、星さんはこれをどう受け止めますか？」</p> <p>星キャスター「日本政府の関係者も衝撃を受けたといわれていますね。一つ言われているのはアメリカと北朝鮮の関係がとてもいい関係ですから、別に日本と仲良くしなくてもよいと思っているのか、もう一ついずれにしても日朝交渉は始まりますから、それに向けて北朝鮮側が強硬なボールを投げてきたという見方もありますね」</p> <p>駒田キャスター「安倍総理が日朝首脳会談に意欲を示したり、モンゴルで日朝が接触したり、何か動きがありそうと思っているときに、このニュースとは」</p> <p>星キャスター「楽観的な見方があったものですから、政府周辺は困惑しています。いずれにしても日朝で決めなきゃいけないテーマ。一喜一憂せずに地道に北朝鮮との対話の糸口を探っていくしかありません」</p> <p>駒田キャスター「(横田) 早紀恵さんも冷静に見ていらっしゃいましたね」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トランプ政権の貿易政策→結論：放送法第四条の見地からは問題なし 		

今回の報道は、米朝首脳会談を受けての米朝関係の変化についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 81 秒だった。なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。

・IR 法案→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

今回の報道は IR 法案についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 304 秒だった。なお、今回は賛否に分かれる問題であり、賛否の根拠として IR 法案によって設置が認められる統合型リゾートの建設の賛否といった論点が取り上げられていた。賛否についての時間配分及び比率は以下の通りだった。



なお、賛成意見では大阪府知事の松井一郎氏が「松井はとんでもないやつだと今でもデモされていますけど、IR はエンターテインメントの拠点であって、カジノだけがある施設じゃないと」、反対意見では長崎県の市民団体メンバーの「カジノは賭博ですよ。それで産業の発展を図ろうという発想自体がゆがんでいる。」という見解が紹介されていた。

なお、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

雨宮キャスター「今月の JNN の世論調査ですが、カジノ整備法案の今国会での成立に賛成が 23%、反対が 59% とやっぱり反対が多いです」

星キャスター「やっぱり色々な世論調査でも反対の方が多そうですね。あと今日たまたま自民党の議員と話していたのですが、個人的な意見として人間に人柄があるのと同じように、国にも国柄があるわけで、日本はカジノがない国でもいいじゃないかと言っていました。そういう慎重論を押し切ってやるというからには、相当メリットがあると説明してもらわなければいけません。いまだに納得のいく説明がないですね」

・骨太の方針→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

今回の報道は、本日発表された今年の経済財政政策方針についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 45 秒だった。なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
とくになし

検証者所感

・ IR 法案と民泊新法

民泊新法施行のニュースで、開業申請の少なさをもって「低調なスタート」と評していたが、その原因の一つに、管理者が常駐していない物件では平日の営業を禁止したり、あるいは周辺住民の同意を開業にあたっての必須事項とするといった、住民とのトラブル防止を名目とする（事実上、既存の宿泊事業者の既得権益の保護を目的とした）法案の趣旨を骨抜きにする条例が各自治体で次々と施行されていることがあるが、それに対する説明がなかったのが極めて残念。同日の放送で IR 法案について、野党側が採決を急ぐ自民党に対して「審議が不十分」と批判している一幕が報道されていたが、このように野党議員が声を挙げてはじめて、法案の問題点や与党の議会運営の問題点がマスコミに取り上げられ、世論に対して周知されるわけであるが、民泊事業の規制を目的とした条例の多くは、各区市議会において全会一致で可決されており、議会の場で反対意見を述べる議員がほとんど存在しない、このような状況の下で国民に問題点が周知されることは望めないのではないだろうか。